

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200309
法人名	医療法人 誠井会
事業所名	GH 陽だまり日輪荘
所在地	鹿児島県霧島市国分広瀬2丁目29-37 995 (電話) 55-0700
自己評価作成日	2013年12月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	2013年12月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様一人ひとりが、季節をいつでも感じて頂けるように季節に合わせた活動の実地や地域の行事への参加を通して地域の方々と交流も出来ています。関連事業所等との合同の活動の参加などバラエティーの富んだ活動をご本人様の意思決定により個別に参加できるように努めながら提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

霧島市国分の市街地、閑静な住宅街に建てられている当ホームは家庭的な外観で近隣と違和感なく溶け込んでおり、ホーム内も木をふんだんに使用して温かみを感じられる造りとなっている。広い敷地の中庭は花壇や家庭菜園が作られ、利用者はホーム周りに造られているウッドデッキで周辺の景色を眺めながら外気浴を楽しんでいる。

法人は母体である医療機関の他にサービス付き高齢者住宅、ディサービス、居宅介護支援事業所等を運営して地域の医療と高齢者福祉の一端を担っている。また、母体医療機関とは24時間連携が図られており、利用者・家族の安心に繋がっている。関連事業所と合同の音楽療法やレクリエーション等で活気のある生活が送れるように支援しており、地域行事の見学や初詣、ドライブを兼ねた季節の花見(桜・あじさい・藤・菊・紅葉等)にも出かけて外出の機会を瀬回りに設けている。

職員は利用者主体のケアに努め、起床や食事なども個々のペースに合わせた時間帯で支援している。また、車イスはあくまで移動の手段として必ず椅子やソファに移乗させ、排せつも個々の精神面・身体面を見極めながら可能な限り改善出来るように支援している。

職員育成にも力を入れており、業務改善会議、各種委員会活動や定期的な勉強会の実施で質の高いサービスの提供がなされているグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念と運営の基礎方針をいつでも確認できるように玄関、事務所に掲示し名札にも携帯し理念にそったケアが出来るよう努めています。	理念は事務所内職員の目につきやすい場所に掲示し、ネームプレートの裏にも明記して常に意識するように啓蒙している。職員は日々、理念を確認してから業務にあたるようにしており理念の共有と実践につなげている	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	近隣の商店街への買い物、散歩等の活動の中で挨拶や会話が出来関係性が築けている敬老会や、夏祭り等の地域の行事にも参加させて頂いている。	地域行事見学に出かけたり、夏祭りには職員が準備等で協力するなど地域交流に努めている。また、近隣とは野菜や花のおすそ分けや避難訓練にも参加してもらえるなど良好な関係が築かれている。近隣の保育園との交流や中学生の職場体験学習の受け入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症養成講座の実施や地域中学生の職場体験の実施 地域の保育所の園児との芋植え等も実施している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	議題に対して意見、助言を頂き改善策をスタッフで話し合いサービス向上に取り組んで改善に努めています。	運営推進会議は2カ月に1回、公民館長・民生委員・利用者・家族・ボランティアの方々・消防分団・行政等の幅広い参加で活発な意見交換が行われている。ホームの状況報告や活動報告、事故ヒヤリハット事例と改善策の報告等を行い、ときには、地域の消防経験者を招き、近隣住民にも参加を呼び掛けて防災防火についての講和を行うなど毎回充実した内容の会議となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議に参加して頂き、協力支援を頂いています。情報についてもメールにて交換を行っていますが、今後も密に連携を図り関係の構築に努めます。	運営推進会議に市担当者が出席するほか、要介護認定や訪問調査の際に情報交換を行い協力関係を築いている。また、市と協働で拠点活用として認知症サポーター養成講座も行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2ヶ月に一度、身体拘束委員会により施設内研修の開催・身体拘束廃止マニュアル等の周知を図り身体拘束を必要としないケアに取り組んでいます。	身体拘束委員会を設置し、日々の生活においてリスクを伴うことについて、職員全員で話し合い、身体拘束のないケアの実践に取り組んでいる。日中は施錠などせずに職員間の連携で安全で自由な生活を送れるように支援している。外出傾向の利用者には職員が着いて行くなどして対処している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	2ヶ月に一度、虐待防止について委員会の開催と施設内研修を実施し、虐待に繋がる不適切な行為について事例検討も含めて虐待をしないケアに取り組んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	資料研修や同法人との合同検証を実施しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明後、疑問点や不安なについても詳しく説明させて頂き納得と同意の上で契約を締結しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月の活動報告書の送付の継続、アンケートの実施、要望をいつでも気楽に提案して頂ける関係作りに努め要望を頂いた場合迅速な対応に努めています。	面会時や電話連絡時、担当者会議、運営推進会議等で意見、要望を聞き出すようにしている。また、家族会ではアンケートも実施している。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月代表者等出席の定例会、各委員会の出席、業務改善会議を実施してお互いの意見を検討し業務に反映しています。	日常の申し送り時や毎月の業務改善会議などで意見交換や職員の提案を話し合っている。出された職員の意見・提案は可能な限り、運営に反映させるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各目標を把握してスキルアップ向上心を持って働けるように努めています。個々の職員が目標を持ちスキルアップに繋げられるような環境作り、研修等の支援がなされています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の育成が質の高いケアにつながる事と理解し、施設内研修・外部研修への参加を通して学んだ事を共有できるように努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連合会・協議会の加入と研修参加を通して情報交換に活用しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前のご本人・ご家族様との面談を通して悩み等を傾聴する事で信頼関係を築けるように努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>来訪時や、電話等でコミュニケーションを取らせて頂きご家族の悩みや不安を打明ける事が出来る関係を築けるように努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>可能な限り入居者様のニーズに合わせたケア、サービス実施と必要なニーズを見極められるように努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>各入居者様の出来る範囲で、それぞれスタッフを交えて生活活動を通して関係を築けるように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員とご家族様で常に話し合い協力しながら入居者様の思いを大切に出来るように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご入居者様、・ご家族様のお話を傾聴して、地域の方々と馴染みの関係が途切れないように努めています。	利用者の生活歴等から馴染みの人や場所等を把握して家族の協力を得ながら関係継続の支援を行っている。また、友人・知人の訪問もあり、訪ねやすいように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者様の生活歴、趣味等を把握して共通の話題を提供し、活動等を通して自発的に交流を図れるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	問い合わせ等の支援の実施と来訪・電話による交流はありますが、体制は整っていません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	各活動や生活の中で出来る限る希望、意欲を尊重して希望、意向にそえるように努めています。	日頃からコミュニケーションを密にすることで信頼関係を築いている。日常の会話の中や夜ソファでゆっくりとした時間を過ごしながらの会話からはいろいろな情報を得ることができる。会話が困難な場合は選択肢を設けたり職員の観察や表情、言動、家族や関係者からの情報などから本人本位に検討して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前アセスメントを行うと共にご本人様との会話とご家族様からの情報と裏付けにより把握出来るように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	身体状態を考慮し一人一人にあった生活活動を実施出来るように努めます。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様、ご家族様、必要な関係者と話し合い、それぞれの思いを聞き意見交換を継続し日々変わる現状に合ったケアを計画作成出来るように努めています。	利用者・家族の意見や要望を踏まえて身体状況及び認知症への支援を総合的にまとめ個々に応じた個別の介護計画を作成している。毎月、職員全員でモニタリングを行い家族にも確認してもらっている。退院後や変化があれば都度見直しを行い、変化がなくても3カ月ごとに見直しを行って現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の記録を活用し職員が把握周知している事で、介護計画の見直し等に活用しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>随時生まれるニーズを把握して関連事業との連携を取りながらニーズに沿った支援サービスを行えるように取り組んでいます。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣の方々や馴染みの友人が訪問出来る環境作りの継続・楽しく活動できるよう支援に努めています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>契約時かかりつけ医の確認、連携体制の確認し緊急時対応についてもご家族の確認・理解を取り理解をえて医療関係との連携を図り支援しています。</p>	<p>契約時に協力医療機関の説明を行い、同意を得ている。他科受診については本人・家族の状況に応じてホームでも柔軟に受診同行を行っている。法人の医療機関とは24時間連携が図られており、本人家族の安心に繋がっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師による健康状態の把握、毎日のかかりつけ医に報告と共に必要時、協力病院・かかりつけ医との連携にて必要な治療が受けられるように努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時の情報提供書により入院までの経過や、内服・緊急連絡などの情報の共有に努めています。退院時カンファレンスも必要に応じて参加させて頂いています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現時点では、マニュアル等の整備、ご本人様やご家族様への説明は行っていますが、書類・体制等は整っていない。	入居時にホームの方針を口頭で説明して同意を得ている。入居後は利用者の身体状況に応じて主治医の判断のもと家族と話し合い、方向性を共有してホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当の講習を行い緊急時に迅速な対応が出来るように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練の実施や法人全体の防災委員会を通して、対応マニュアルの周知に努め地域の方々との連携も図れるように推進会議・拠点活用の一環として講座を開催している。</p>	<p>年2回の定期的な避難訓練と夜間想定・早朝想定・地震想定自主訓練も年3回行っている。近隣住民の参加も得られており、運営推進会議にも消防関係者が出席していることから地域との協力関係が築かれている。また、すぐ近くの法人の施設とも協力体制が築かれておりスプリンクラーは設置済みで備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人内のスキルアップ研修等を通して学び、常に入居者様一人一人の人格とプライバシーを尊重した対応を心がけています。	日常の業務の中で気づいたら都度注意し合うなどして職員の資質向上に努め、特に馴れ合いによることば使い、排せつ介助など気をつけるように職員は意識を持って対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が、思いや希望を何時でも表現でき自己決定できるように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調を考慮して個々のペースを大切に希望に沿った生活が出来るように心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類の決定・身だしなみについてご本人様の好みをお聞きして自己決定して頂けるように支援に努めています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	体調を考慮したうえで、嗜好を可能な限りお聞きして、楽しみの一つとなるように心掛けています。	嗜好調査や日常生活の中で献立の希望を聞き、食事が楽しみになるように支援している。また、家庭菜園の収穫で季節を感じてもらい、おやつ作り、味噌作り、もちつきなども利用者のアドバイスをもらいながら行っている。ときには弁当持参の季節の花見や物産館での外食にも出かけ「食」が楽しめるように趣向を凝らしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立表の内容チェックを行い個別に栄養バランスを把握できるように心掛け食事量・水分量は毎食後表に記入し体調管理に活用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの実施と義歯洗浄を行い夜間帯は洗浄剤につけて対応に心掛けています。。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中・夜間の排泄パターンを細かくチェックし、個別に合わせた対応に心掛けています。	排せつチェック表を作成して個々の排せつパターンを把握し、精神面・身体面に考慮しながら可能な限り改善できるように支援している。入居後に改善した利用者も多く、現在自立している利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄確認票の活用と食事内容、水分量の確認・体操等で排泄を促しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調を考慮しながら希望に合わせて入浴を楽しんで頂けるように努めています。	基本的には週3～4回を目安としているが、個々に応じて柔軟な支援を行っている。ゆず湯や入浴剤で温泉気分を味わってもらったり、家族と温泉に出かけている利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活パターンに合わせて休息環境の設定を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎回の受診時、処方一覧表により内服の確認・把握に努め変更の有無について書面での確認の徹底・看護師によるセットの実施を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・洗濯物干し・たたみ・台所と出来る範囲でそれぞれ役割を持って実施して頂いています。お菓子作りや懐かしい料理については気分転換を兼ねて料理して頂いています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物・ドライブと希望に沿って外出の対応はでカル範囲で実施出来ていますが、家族や地域の方々との外出の同行には至っていません。	日常的に畑の世話やテラスでの外気浴、ホーム周辺や近くの神社までの散歩、昼からドライブに出かけるなど外出支援を行っている。また、年間行事として、初詣、季節の花見、紅葉狩りと外食、地域行事見学などにも出かけて外出レクリエーションを楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理については預り金として管理させて頂いていますが、何人かはお小遣いとして持っていらっしやいます。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>時節の挨拶状については、率先して取り組ませて頂いています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花を飾ったり壁画・季節の作品を飾り気持ちよく過ごして頂けるように工夫しています。</p>	<p>共用空間は広くて明るく中庭に面しているため開放的である。ホーム周りのテラスは直接出ることが出来るため、外気浴に活用されている。食事のダイニングとソファとテレビのあるリビングに分かれており、利用者はメリハリのある生活が送れるように配慮された造りである。また、畳の和室もあり昼寝等で活用されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル・ソファ・畳等それぞれ好きな所で思い切り過ごして頂けるように配慮・工夫しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所前からの馴染みの家具・道具などを使って頂き安心して過ごして頂けるように努めています。</p>	<p>入居の際に使い慣れたものや馴染みの物品を持ち込んでもらえるように、家族に説明している。ベッドとタンスが備え付けられており、家族の写真やいす・ラジオ・布団・鏡などが持ち込まれ居心地良く過ごせるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入所前からのアセスメントと入所後の生活パターンを知り職員の見守りの環境の中で安心して出来る事を出来る範囲で自立して生活が送れるように努めています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない